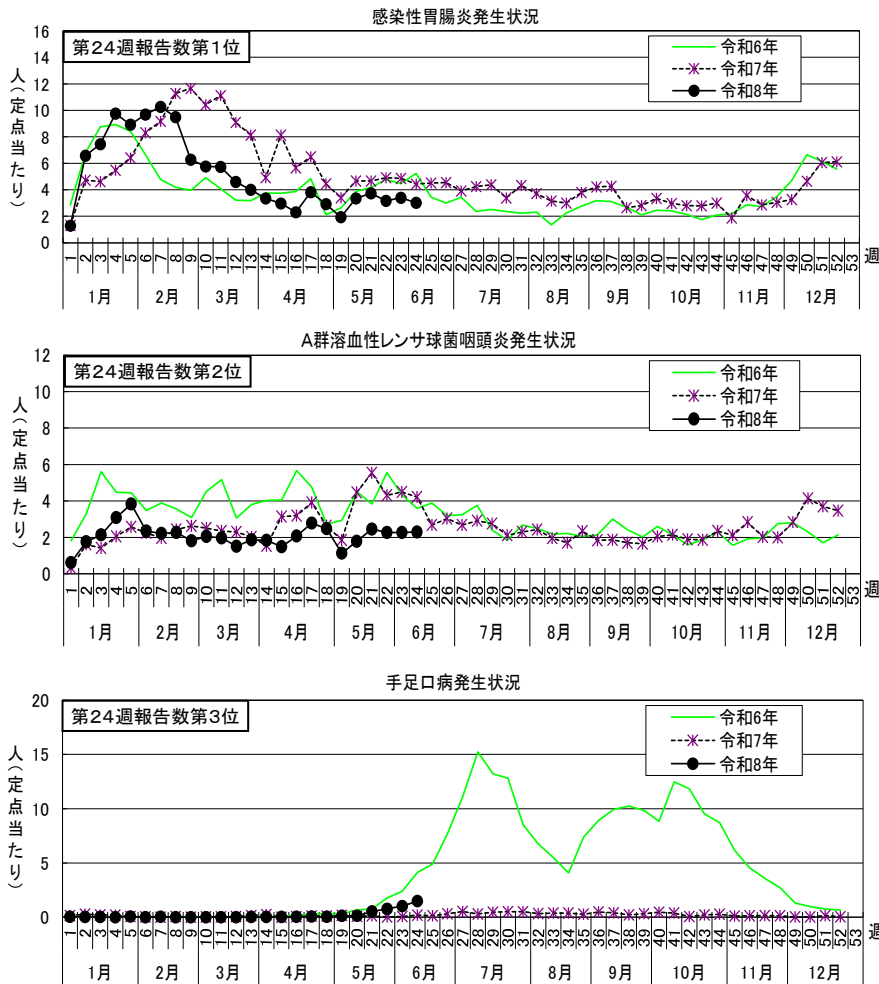


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和8年6月8日（月）～令和8年6月14日（日）〔令和8年第24週〕の感染症発生状況

第24週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 手足口病でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は3.03人と前週（3.41人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.30人と前週（2.27人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。
 手足口病の定点当たり患者報告数は1.49人と前週（1.03人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。

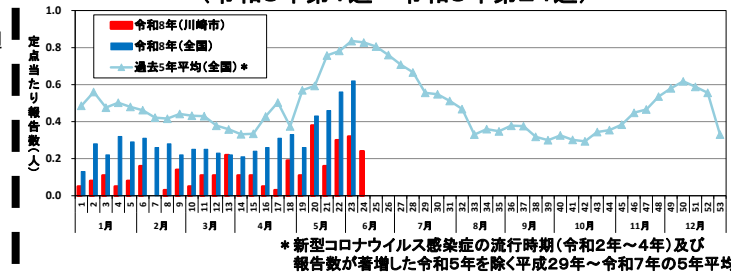


これから気を付けたい感染症～咽頭結膜熱～

咽頭結膜熱はアデノウイルスを原因とする感染症で、主に5歳以下の小児を中心に、例年初夏と初冬に流行します。川崎市における令和8年第24週（6月8日～6月14日）の定点当たり報告数は0.24人と、5月中旬以降横ばいで推移していますが、全国的には既に増加傾向がみられます。

咽頭結膜熱に感染すると、発熱、咽頭痛、結膜充血等の症状が現れますが、ほとんどの場合は1週間程度で自然に治癒します。一方で、感染力が非常に強く、くしゃみ等の飛沫や目をこすった手指などを介して感染が容易に広がるため、石けんによる手洗いやタオル等の共用を避けるなどの対策を徹底しましょう。

全国及び川崎市における咽頭結膜熱の発生状況
 （令和8年第1週～令和8年第24週）



アデノウイルスには多くの型が存在し、様々な症状を引き起こします。年によって流行する型は異なりますが、近年は主に3型と2型が咽頭結膜熱の原因となっています。

咽頭結膜熱とは？

- 病原体
アデノウイルス
- 潜伏期間
5～7日間程度
- 主な症状
突然の高熱（39℃前後）、喉の痛み、結膜充血、目やに、腹痛、下痢等
- 予防方法
 - ・流水と石けんによる手洗いを徹底する。（アルコール消毒の効果は低い。）
 - ・患者との密接な接触を避ける。
 - ・タオルやおもちゃの共用を避ける。



※学校保健安全法に基づく出席停止対象疾患